

生徒主体の授業を目指した脱穴埋め型学習プリントの取組

現段階での成果と課題

天草市立本渡中学校社会科

1 目的

- ・生徒主体の授業に向けて、教師の意図が多く反映された穴埋め型学習プリントを用いないことを通して、生徒一人一人が必要な情報を取ることができる力を身につけることを目指す。
- ・多様なまとめ方に触れ、自分なりのまとめ方を身につける機会を保障する。

2 具体的取組

(1) Google スライドを用いて、学習課題に対する情報収集・整理分析を生徒に委ねる。

- ・学習課題や生徒に読み取ってほしい資料や調べてほしい部分など予め枠を入れておく。

例 生徒作成スライド

政治

学習課題：江戸幕府は、どのように全国を支配したのだろう？
(どんな仕組みをつくったの？何時代の仕組みと似てる?)

江戸幕府の成り立ち
豊臣秀吉の死後秀吉の政権争いが起きた(関ヶ原の戦い)
徳川家康はこれに勝利し政権を握った。
1603年に家康は、朝廷から、征夷大將軍に任命され江戸に幕府を開いた

これは、鎌倉時代と似てる！

大名・朝廷の統制
幕府は、武家諸法度を定めた。=大名が反対しづらい時代に=約260年間も続いた？

大名は許可なく城の修理をしてはならない
無断で縁組をしてはならない
など

世界の課題

地球温暖化
地球温暖化は海面上昇や農作物の不作など、深刻な状況
原因は、二酸化炭素、温室効果ガスの排出

京都議定書
この会議で京都議定書が採択された。

日本の課題

少子高齢化
少子高齢化

環境問題
このままごみが増え続けると
日本は様々な環境問題に悩まされていて、
人間だけの地球じゃないから支えあって。
プラスチックなどポイ捨てしないようにしたと思う。

食品ロス
海洋汚染

(2) 教科内の授業の進め方を統一

- ・授業冒頭で学習の手引きを示し、進め方を生徒に提示する。
- ・他者参照を常に行うことができる状況を作る。

⇒同じ流し方をすることで、生徒にとっては見通しを持つことができるとともに、教師にとっては、流し方の改善について意見交換が行いやすくなる。

例 学習の手引き

【学びの手引き】

〔課題設定〕

*学習課題に対する予想を最初にスライドの各自のページの1番上に記入する。
(自分の番号のスライドに記入すること)

〔情報収集〕

・教科書を中心に、わからない言葉や興味を持った内容を資料集・インターネットで調べ、1枚のスライドにまとめる。

〔整理・分析〕

・他の生徒に自分のスライドを使ってアウトプットし、より内容を深める。

〔まとめ・表現〕

・振り返りようスプレッドシートの各自の番号のところに、学習内容の振り返り（課題へのまとめ）、学び方の振り返りを両方記入する。

*両方とも完成したところで、チェックを受ける。

☆授業中意識してほしいこと！

【今日の授業のキーワード】・熱帯雨林・マンゴーロープ・サンゴ礁・持続可能な開発

【見方・考え方】

・地理的な見方・考え方：位置や空間的な広がりと出来事に着目し、人間の暮らしを環境条件や他地域と結びつける
・比較・変化・衣食住

(導入)

・幕府が成立した時代をさまざまな立場から比較する。

・単元を貫く課題の予想をする。

・2節の学習計画を立てる。

(2節の学習の流れ)

・教科書見開き1ページごとにスライドを用意しています。それぞれのページの課題も設定していますので、解決のための調べ学習を行ってください。

・時間数は限られています。効率的に行うためにはどうすればよいか？考えましょう。

・調べ学習が終わったら後には、2節の学習課題「なぜ、江戸幕府の支配は約260年も続いたのだろうか？」について考え、意見交流を行います。

(評価基準)

C：教科書から抜き出してまとめている。

B：教科書のページそれぞれにある重要語句（黒太字）を活用して、まとめている。

A：教科書等の資料を参考にして、まとめている。

S：教科書等の資料から分かることや予想されること自分で考え、課題に対しての自分の考えをまとめている。

★何人で学習するか決定したら、この課題の「コメント」にスライドを貼って教えてください。
スライドの複製の仕方は、前回の中国・四国地方のときの方法で！

(3) 単元デザインの工夫

- ・単元で生徒に委ねる場面を前半にたくさん持ってきた時の不安として知識の定着が話題となった。そこで、単元デザインと単元テストの活用について次のように工夫した。
- ・単元デザインのイメージ



- ・導入後、数時間、単元内自由進度学習を取り入れる
- ・単元後半に、1時間もしくは2時間、業者の単元テストを利用して知識定着の時間を作る。

・知識定着の方法 例

・単元テストの活用

班で一緒に解く 20分勉強 20分解答 10分で採点

・評価に関しては、上記の流れで行う単元テストが複数枚に渡るので、一定期間置き、どれが出るかわからない状態で個人でテストを行い、それを補助的な評価とする。

4 現段階での成果と課題

(1) 成果

- ・小学校段階でこのスタイルで授業に取り組んだ生徒（本校1年生・2年生）にとってスライドにまとめるることは知識の整理となり、有効な活動として機能している。
- ・他者参照により多様なまとめ方に触れることで、自分に合ったまとめ方の習得と、本当に必要な情報を収集する部分についての意識が高まった。
- ・一斉授業では参加できていなかった生徒が、端末を活用することで授業に参加できるようになった。
- ・学習の手引きの中に「キーワード」や「見方・考え方」の視点を生徒が意識して学習に取り組むことができるようになってきた。
- ・生徒の学習経験を重ねることで、より学習の質が高まることが分かった。
- ・教師の発話量が減り、生徒の活動もしくは生徒の発話量が増えることに繋がり、生徒主体の授業への教師の授業観転換の足がかりになった。

(2) 課題

- ・小学校段階で端末を十分活用してこなかった生徒（本校3年生）にとっては、端末を用いた学習経験が不足し、ネックになることがあった。
- ・現段階で、生徒に委ねると時間がかかり、単元ごとにプラス1時間ないし2時間かかることがあり、進度の面で不安がある。
- ・「大事なところがっているかと分からない」「もっと教えてほしい」という生徒側からの不安の声があった。そこで、「授業=先生から教わるもの」という生徒の学習観を「授業=自分たちが学ぶもの」に変える必要性があることが分かった。その対策として、生徒が自走できるようにするために、授業を進める上で、一つ一つ教師側から意図を説明し、共通理解を行なった上で進める必要があると共通理解を行った。

5 追記 2学期の実践

(1) 小研授業での第2学年江戸時代の幕政改革の実践（田中果歩教諭）

① 単元内自由進度学習

単元の導入で単元計画を示した後、生徒に学習計画を立てる時間を設定された。今回は班で江戸時代の産業や幕政改革のページについて、「産業」「交通」「文化」「政治」「外交」を自分たちの学びたい順番に並び替えて学習の順番を決めるとともに、学び方の選択（②）、班での目標を決める3つの項目で自分たちの学びを計画する活動を取り入れられた。

② スプレッドシートでの立場の表明

①の学習計画の中で、学び方の選択肢は、「個人」、「班で役割分担」、「先生から教えてもらう」、「他の班を参照」、「教え合い」の5つの選択肢をプルタブで準備し、班で選択し立場を表明させられた。

生徒が活動計画を立てる様子の中では、「先生から教えてもらう」のは重なるとできないことを考え、他班の動きを見ながら自分たちで調整する様子が見られたとのことだった。

③ ミニ授業

「先生から教えてもらう」の場面では、教師がミニホワイトボードを持ち歩き、全て解説するのではなく、「これをした人は？」と教科書から生徒が情報を取ることができるような小さな発問を繰り返し、気付いていない部分を教えることで生徒と関わりを持たれた。

番号	班のメンバー	全員必ず取り組む課題	班での追究課題	1時間目
★木澤 太郎（班長） 天草 花子 熊本 城	江戸時代は、安定した江戸時代の文化は、どのような特色があるのか。（安定していたと見える？言えない？）			産業
例	江戸時代は、安定した時代だったのだろうか。（安定していたと見える？言えない？）	長く続いた江戸時代の政治や文化は、どのようなものだったのか。	江戸時代は、安定した時代だったのだろうか。（安定していたと見える？言えない？）	個人 班で役割分担 先生から教えてもらう 他の班を参照 教え合い
1	江戸時代は、安定した時代だったのだろうか。（安定していたと見える？言えない？）	長く続いた江戸時代の政治や文化は、どのようなものだったのか。	江戸時代は、安定した時代だったのだろうか。（安定していたと見える？言えない？）	産業
2	江戸時代は、安定した時代だったのだろうか。（安定していたと見える？言えない？）	江戸時代とほかの時代との違いは何だろう？	江戸時代とほかの時代との違いは何だろう？	班で役割分担 1時間目



(2) 教科書読解トレーニングの実践（中山）

① 目的：教科書から必要な情報を読み取る力の育成とスライドまとめの時間短縮。

② 方法

- A 教科書を読み、今日の学習課題に答える上で大切だと思うところ3箇所に線を引っ張る！
(1色目)
- B 線を引っ張ったところと、その理由をペアか班で交流する！
- C 交流して、大切だと思うところが変わったら、別の色で線を引く！(2色目)
- D 全体の場で何人かに発表してもらい、比較する。
- E 解説や交流を経た後に、もう一度自分が線を引っ張ったところを振り返る

③ 深めるための工夫

- ・生徒が線を引いたところを何人かに発表してもらい、「見方・考え方」が入っている表現を取り上げることができているところを教師が価値づけを行右ようにすると、多くの生徒が引けるようになってきている。

実際に提示したスライド

教科書、読みトレ！タイム！	
・目的：教科書から必要な情報を読み取る力をつける！	・順番①
①教科書を読み、今日の学習課題に答える上で大切だと思うところ3箇所に線を引っ張る！ (1色目)	②線を引っ張ったところと、その理由をペアか班で交流する！
③交流して、大切だと思うところが変わったら、別の色で線を引く！(2色目)	